

### 3. 商品マスタファイルの作成

Excelにて、商品マスタのデータを作成します。

#### 商品マスタ作成

Excelなどでマスタを一括で作成して、CSV形式で保存してください。

データレイアウトは以下の通りです。

#### 【商品マスタ作成例題】

PLU/JANコード	名称	単価	部門 CD
2736020	ラッキー S・R	320	1
2798321	ラッキー S・M・R	320	1
2757722	ケルミック 8B	330	1
2725325	ケル	320	1
43306367	カルトワ・MS	320	1
2722027	ケル・ブー スト 5B	330	1
2725228	ケル・FK・B	320	1
2725529	ケル・M・FK	320	1
49401233	テグー --BOX	300	1
2725529	ケルマイルド FK	320	1
27200014859	ラッキー MenL テグ 20P	3200	1
27200018314	ケト Ex3100B 10P	3000	1
27200174447	ケト UMenB 20P	4200	1

データヘッダー部

データの始まり

●商品コードは13桁 JAN 又は8桁 JAN で作成します。

#### データ作成する時の注意事項

##### 【PLU/JANコード】

- 13桁以内の半角数字で作成して下さい。
- PLU/JANコードを作成する時には、全てのPLU/JANコードを「チェックデジット付」か「チェックデジット無」に統一したデータにしてください。
- その他、詳しい注意点は「[バーコードの分類\(P17\)](#)」を参照して下さい。

##### 【名称】(商品名)

- 全角8文字で、半角16文字以内で作成して下さい。  
これ以上の長さがある場合は自動的に8文字又は16半角以内の長さに先頭文字からカットされます。

##### 【単価】(商品価格)

- 0 ~ 999999 以内の範囲で作成してください。

##### 【部門CD】

- 部門CDはこの商品が該当する部門コードと紐付けます。  
紐付け処理を行わなかった場合は、レジ集計データ上に現れませんのでご注意ください。

以上のことに注意してデータを作成して、CSV形式で保存してください。

また、元データは Excel 形式で保存してください。

CSV 形式のデータを修正することを行わないでください。

#### ファイル作成時の注意事項

Excel ソフトで作成したデータは、保存形式が CSV という拡張子で保存してください。

例： JAN マスタ.CSV という名前です。

JAN マスタ . CSV  
自由に作成      この部分は CSV で必ず保存

一度、保存した CSV 形式のファイルを再度、編集、保存する場合は

JAN コードが以下の状態のままで操作を行わないでください。

データが正しく作成されません。(赤い色の部分)

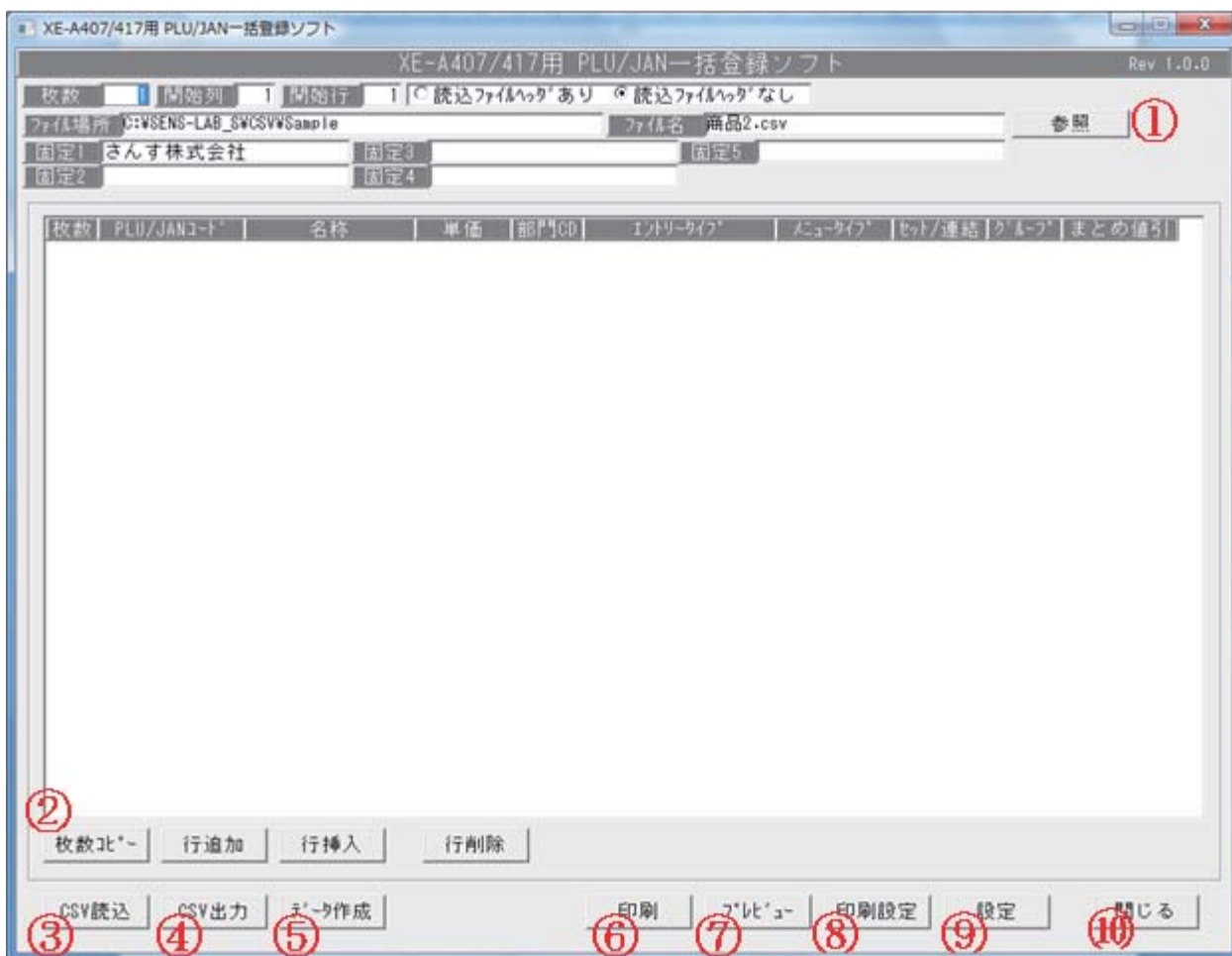


商品コード	商品名称	部門コード
1.2345E+12	スポーツ新聞	1
1.2345E+12	日刊新聞	1
1.2345E+12	ストッキング(黒)	7
1.2345E+12	ミルクチョコレート	5
1.2345E+12	カップ ラーメ醤油(1.5)	4
1.2345E+12	カップ ラーメ塩(1.5)	4

1.2345E+12 を正常な値で表示する方法は、Excel で「セルの書式設定 (F)」で表示形式を (数値) を選んでください。

## 4. XE-A407/417用 PLU/JAN 一括登録ソフト 画面説明

PLU/JAN 一括登録ソフトを起動すると図の様な画面が表示されます。



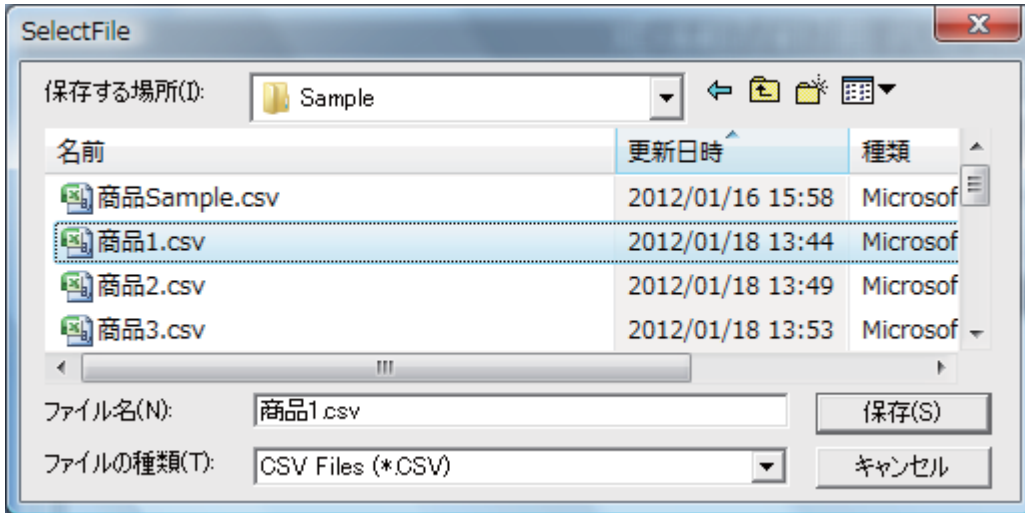
### 簡易ボタン説明

- ① 【参照】 作成した商品マスタ CSV ファイルを参照します。
- ② 【枚数コピー】 選んだ商品コードのバーコード発行枚数を基準にその行より下の全てのデータの枚数の数値に反映します。
- ③ 【CSV 読込】 参照ボタンにより参照している CSV ファイルを画面へ読み込みます。
- ④ 【CSV 出力】 表示及び取込んだデータを編集して、再度 CSV データで保存する時に使用します。
- ⑤ 【データ作成】 XE-A407/417用 SD カードへデータを一括変換し、保存するボタンです。作成場所は、SD カード以外への保存も可能です。
- ⑥ 【印刷】 バーコードシールなどへの印刷ボタンです。
- ⑦ 【プレビュー】 印刷イメージを表示します。
- ⑧ 【印刷設定】 プリンターを指定します。通常プリンター又は、指定プリンターの設定を指示します。
- ⑨ 【保存設定】 いろいろな設定を行います。(詳細は「[【設定】ボタンの説明\(P18\)](#)」を参照)
- ⑩ 【閉じる】 ソフトを終了します。

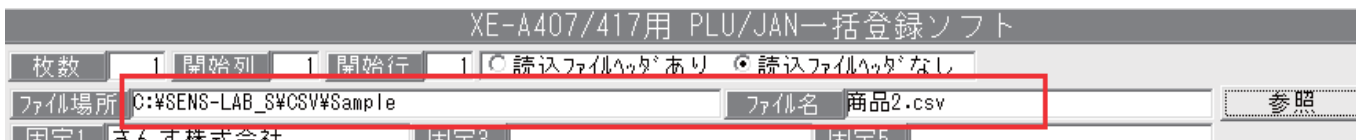
## 5. レジスタ用マスタの作成

SDカードに商品マスタを書込みます。

(1) XE-A407/417 用一括登録ソフト画面を開いたら①(P.8)の参照ボタンを押します。



(2) 作成した CSV ファイルを選択し、保存ボタンを押します。



(3) 画面上部に CSV ファイルの保存先とファイル名が表示されますので、

② (P.8) の CSV 読込ボタンを押します。



(4) 正常に取り込まれた場合、商品一覧が画面に表示されます

◆枚数、開始行、開始列

この項目は一般のタグシールなどを使用する時に便利な機能です。

バーコードラベル発行機を使用する場合は枚数: 1、開始列: 1、開始行: 1、を指定します。

一般のタグシールを使用する場合は発行枚数と、印字開始位置の指定を行います。

◆（読込ファイルヘッダあり）（読込ファイルヘッダなし）

CSV でデータを作成した時に、JAN コード、商品名などヘッダーを付けたまま作成し取込む場合は、**あり**を指定します。

ヘッダーなしの場合は、**なし**を指定します。

◆ファイル場所とファイル名

CSV で作成したマスタの場所とその名称を表示します。

任意の場所に作成した場合は、ファイル名の右の参照ボタンで CSV ファイルを指定してください。

◆固定1 から固定5

印字対象全ての行に反映する任意の文字を入力します。

(ex) 店舗など

文字数はシールの大きさに依存しますので、調整を行ってください。

(5) 編集した CSV ファイルを保存する場合は

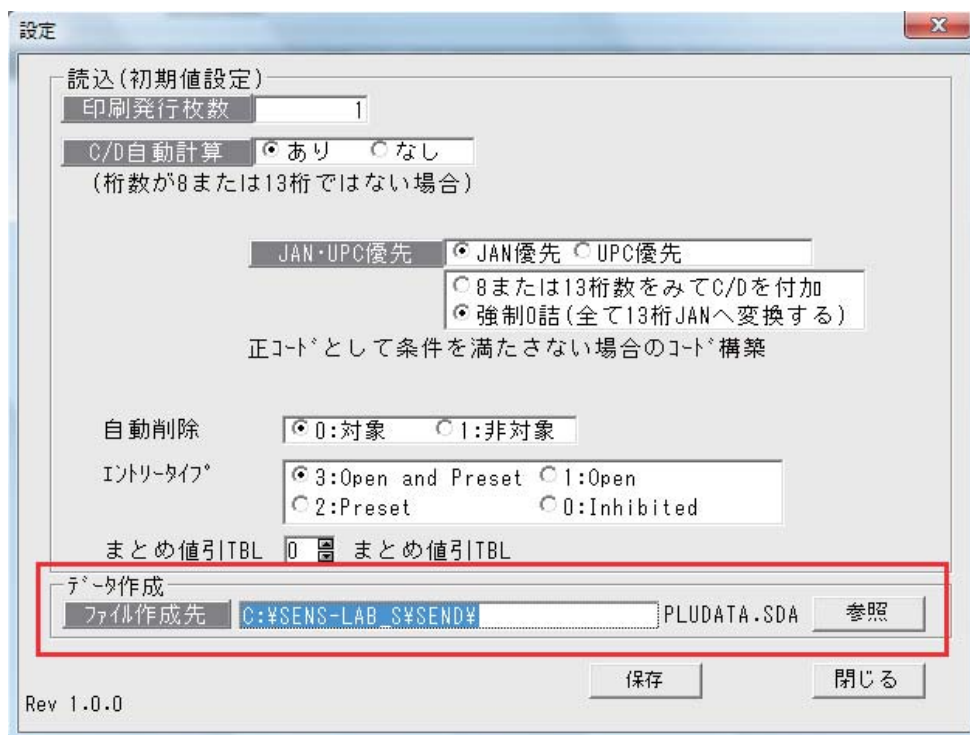
④ (P.8) CSV 出力ボタンを押すことで取込 CSV と同じ形式で保存する事が出来ます。

はい → 上書き

いいえ → 別名で保存

(6) レジ用のデータの保存先を設定します。

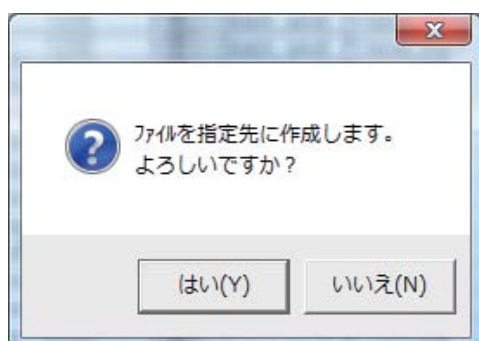
⑨ (P.8) 設定ボタンを押し、設定ウィンドウを開きます。



- データ作成の項目の参照ボタンを押しレジ用のデータの作成先を設定します。
- 保存ボタンを押し設定を完了します。(他設定の詳細は「[【設定】ボタンの説明\(P18\)](#)」を参照)

(7) レジ用のデータを作成します

⑤ (P.8) データ作成ボタンを押します。

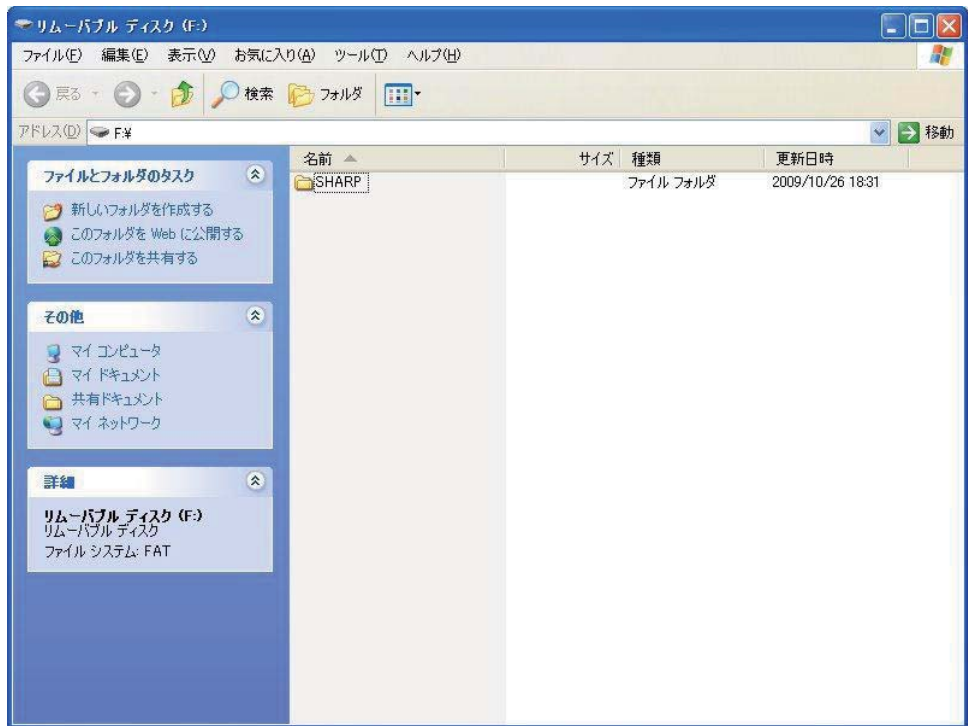


確認メッセージが表示されるので「はい(Y)」を選択します。

設定の保存先に PLUDATA.SDA、PLUDATA.FDS ファイルが作成できていれば成功です。



- (8) レジ用のデータをSDカードへ保存します  
準備したSDカードをPCにさします。



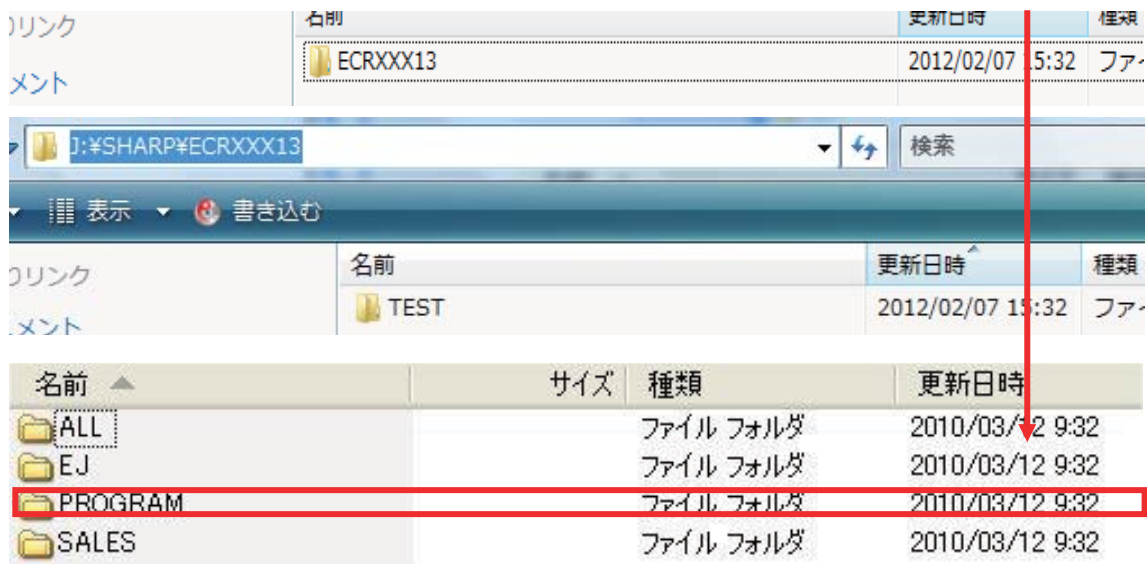
作成したデータ2つ

PLUDATA.FDS

PLUDATA.SDA

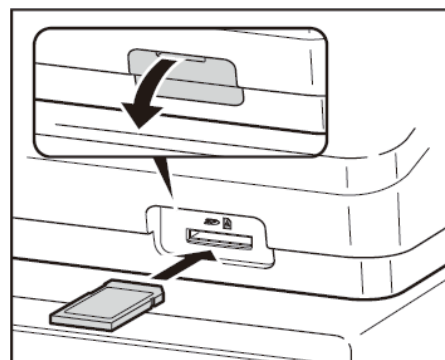
のファイルをコピーして次の場所に張り付けます。

【SDカードのドライブ】 ¥SHARP¥ECRXXX13¥レジで作成したフォルダ ¥PROGRAM



(8) レジにてマスターデータの読込を行います

1. SD カードをレジの SD カードスロットに差し込みます。



2. 売上登録モード（トップ画面）で  
モード切替ボタンを押すと右の図のように  
モード選択画面に切り替わります。



SD カードを選択して現/預/替ボタンを押します。

3. SD カードのメニューからフォルダを選択して  
現/預/替ボタンを押します。



4. フォルダのメニューからフォルダ選択を選択して  
現/預/替ボタンを押します。



5. フォルダ選択メニューに予め作成したフォルダが表示  
されます。  
CSV ファイルから作成された SD カード用ファイル  
（拡張子が FDS、SDA のファイル）の保存先フォルダ  
を選択して現/預/替ボタンを押します。





6. **強制解除**ボタンを押して SD カードメニューへ戻ります。

続けて SD カードメニューから読み込みを選択して **現/預/替**ボタンを押します。



7. 読み込みメニューから設定（個別）を選択して **現/預/替**ボタンを押します。



8. 設定（個別）メニューから PLU/JAN 設定を選択して **現/預/替**ボタンを押します。



9. 実行するを選択して **現/預/替**ボタンを押します。

>表示が左から右へ移動するイメージで進行状況を示します。

表示が消えますと読み込み完了です。



10. 売上登録画面（トップ画面）に戻るまで **強制解除**ボタンを押します。

ハンドスキャナ等で読み取りテストを行ってください。

## 6. ラベル発行

読込した商品マスタの内容でバーコードラベル発行をします。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ	メニュータイプ	セット/連結	カルプ	まとめ値引
1	27360200	ラッキーS・R	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27983218	ラッキーS・M・R	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27577226	カールミックス8B	330	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27215234	カールブーストB	330	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27924242	ラッキーS・FK	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27253250	カール	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	43306367	カールソ・MS	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27220276	カールブースト5B	330	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27252284	カールFK・B	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27255292	カールM・FK	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	49401233	テナント・BOX	300	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27255292	カールマイルFK	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0272000148598	ラッキーMenLテンス20P	3,200	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0272000183148	ケントEx3100B10P	3,000	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0272001744478	ケントUMenB20P	4,200	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0272001744546	ケントSPMenB20P	4,200	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0272005085942	カールフルメタル10P	3,200	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0272005088844	カールブーストB10P	3,300	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
0	00001	PLU1	1,234	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	12345656	UPC-E0123456	123,456	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	12345670	JAN1234567	2,222	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	49400403	マイルセブン	300	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0012345678950	UPC-A123456789	12	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0123456789050	UPC-A1234567890	123	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	1234567890128	JAN-12345678901	12,345	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	4902210102306	マイルセブンスカトン	3,000	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0

赤い口の枚数が印刷時のラベル発行枚数です。

### 【枚数】

枚数を設定した状態でCSV読込を行うと全てのコードの初期枚数を設定ボタンで設定した値で読込します。

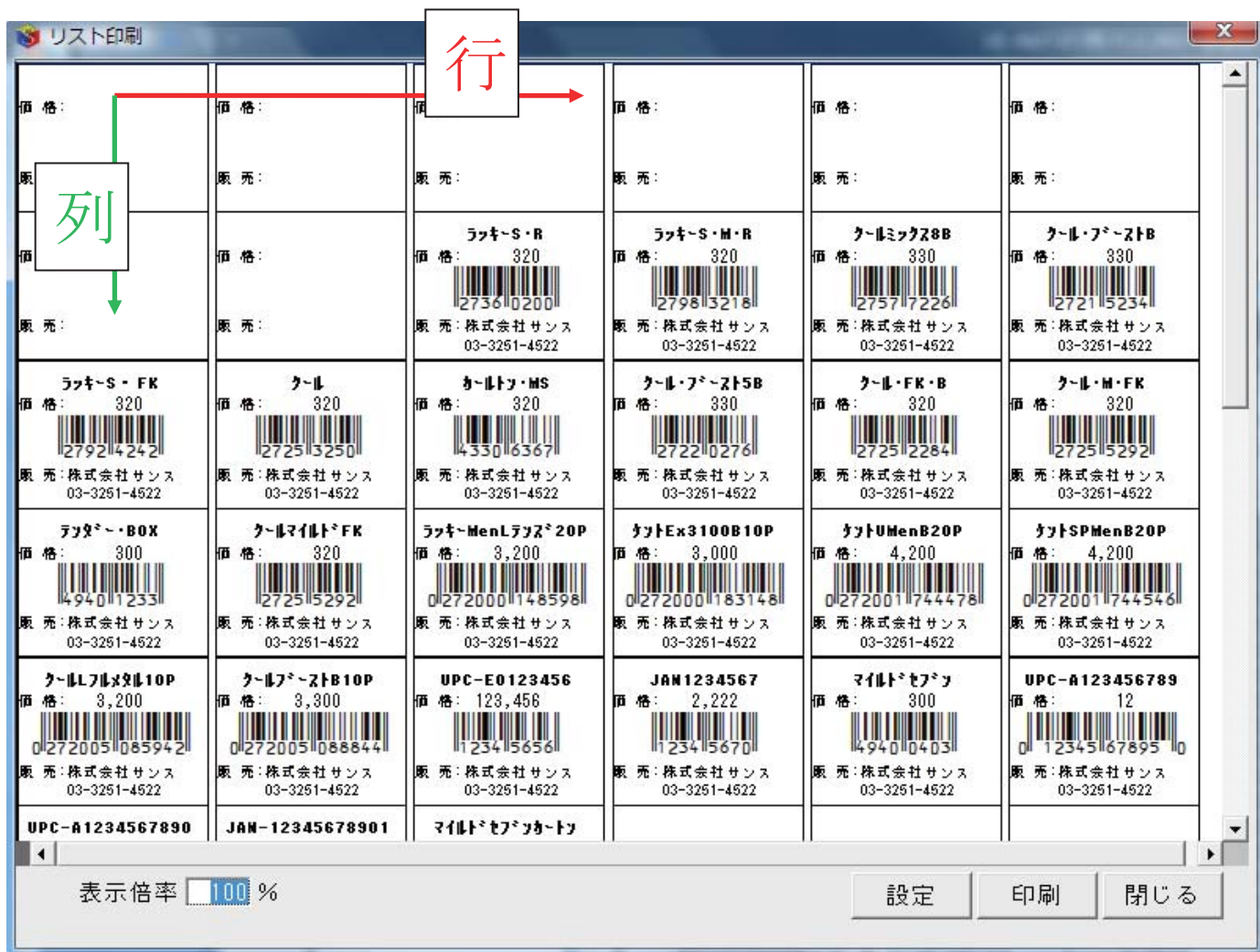
### 【開始列】【開始行】

バーコードラベル印刷時の開始列と開始行を設定します。

### 【固定1】【固定2】

バーコードラベル印刷時に表示される文字列を設定します。







【プレビュー】ボタンを押すと、図のような印刷イメージ画面が表示されます。  
 ラベルを発行する場合は、【印刷】ボタンを押します。

## 7. バーコードの分類



### 【 JAN (ジャン) 】

「桁数について」:桁数は13桁(コード12桁 + チェックデジット[CD]1桁)又は短縮タイプの8桁(コード7桁 + CD1桁)があります。なお、8桁の短縮タイプは日本だけの規格のため国外では使用できません。また、桁数は固定のためユーザーが自由なデータ構成を選択することもできません。

JAN13		国コード	メーカーコード	アイテムコード	チェックデジット
		49	71633	00200	5
JAN8		国コード	メーカーコード	アイテムコード	チェックデジット
		49	4007	6	2

### 【 UPC (ユーピーシー) 】

「桁数について」:UPCコードには、12桁のUPC-A(コード11桁 + CD1桁)と8桁のUPC-E(コード7桁 + CD1桁)の2種類があります。

UPC-A		NS(1桁)	メーカーコード	アイテムコード	チェックデジット
		0固定	12345	67890	5
UPC-E		NS(1桁)	メーカーコード	アイテムコード	チェックデジット
		0	2825	7	0

【独自コードを作成して本ソフトから読み込む場合】

コードの例：

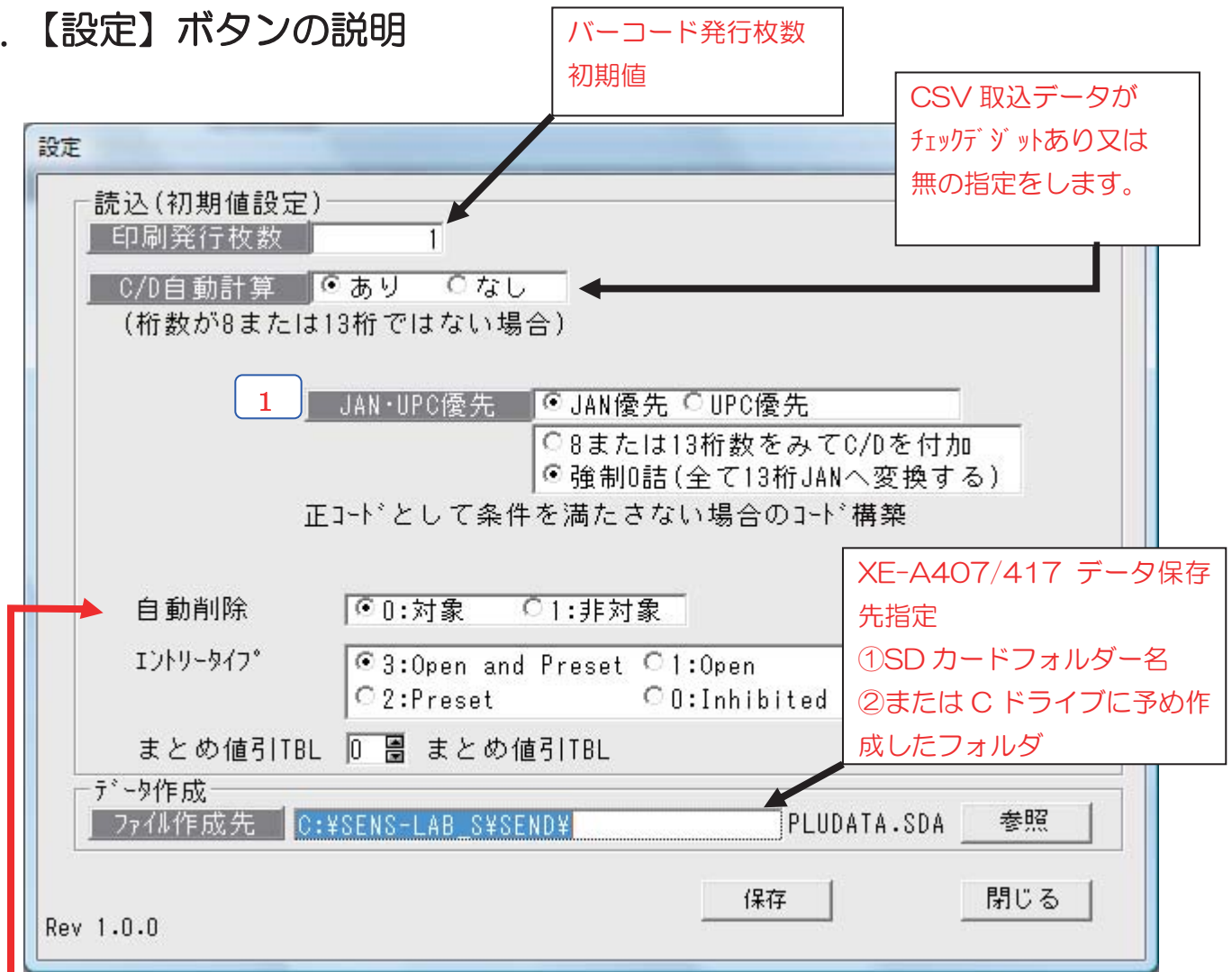
桁数	変換前(連番)	JAN 優先変換	UPC 優先変換
6桁	111118	01111187	01111187
	111119	01111194	00111119
7桁	1231233	12312337	01231233
	1231234	12312344	02312343
9桁	111111114	0001111111142	0000111111114
	111111115	0001111111159	0001111111159
10桁	1111111111	0011111111110	0001111111111
	1111111112	0011111111127	0011111111127
11桁	12312312312	0123123123125	0123123123125
	12312312313	0123123123132	0012312312313
12桁	101000300004	1010003000043	1010003000043
	101000300005	1010003000050	0101000300005

※JAN 優先変換を行うと、原本コードの統一性を保つことが可能です。

※UPC 優先変換を行うと、原本コードが連番のコードを変換してもコードが変わる場合があります。

※コードの一部または全体に一定のルールを持たせたコードを作成されたい場合は JAN 優先変換を推奨いたします。

## 8. 【設定】 ボタンの説明



### 【読込初期値設定】

この項目は、SDカードへデータを変換する時に指定します。

基本的には変更必要はありません。この項目はレジの運用に係るものです。

この項目で表示している名称や用語は、レジのマニュアルと同じものを使用しております。

《自動削除》対象・非対象はレジ内部設定で JAN コードの有効期間内に、対象 JAN コードが未使用なら、削除するか、しないかを設定するものです  
(詳細はレジマニュアルを参照してください。)

《エン트리タイプ》通常は、3番のオープンプリセットをご使用ください。  
(詳細はレジマニュアルを参照してください。)

《まとめ値引 TBL》JAN 商品をまとめ値引き対象として登録するかどうかを指定します。  
(詳細はレジマニュアルを参照してください。)

### 1 の項目についての注意事項

- (1)既にバーコードが付いている場合は C/D 自動計算なしで読み込んでください。
- (2)C/D の自動計算は不要で、バーコードの手入力が必要な海外タバコと輸入商品で 6 桁以上 12 桁以下の商品コードを使用する場合は、UPC 優先に設定してご使用ください。コードが変わってしまいます。
- (3)一方、自社商品や6桁以上のコードを JAN として取り扱って且つ、バーコードを作成したい場合には、JAN 優先に設定してご使用ください。

## 9. お店独自のバーコードを発行したい場合

★チェックデジット (check digit, 検査数字) とは、符号の入力誤りなどを検出するために元の符号に付加される数字のこと。CD, C/D と略されます。

### (1) C/Dが付いてない独自コードから作成する

#### 1. 1桁から5桁までの数字を使ってコードを作成する場合 (PLUコード作成)

①JANコードではなく、PLUコードが出来上がります。

例) 独自コードが345の場合：作成結果はそのまま345になります。

C/D自動計算  あり  なし  
(桁数が8または13桁ではない場合)

JAN・UPC優先  JAN優先  UPC優先  
 8または13桁数をみてC/Dを付加  
 強制0詰(全て13桁JANへ変換する)

正コードとして条件を満たさない場合のコード構築

※保存設定はC/D自動計算「なし」、桁数調整も「なし」にします。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	00345	PLU	300	1	3:Open and Preset

②レジ登録後使用方法：レジのテンキーで345を打ち込んだ後、PLU/JANボタンを押します。

+

#### 2. 6・7桁の数字を使ってコードを作成する場合 (8桁JANコード作成)

①8桁のJANコードが出来上がります。

例) 独自コードが2345678の場合：作成結果は23456785になります。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	23456785	JAN8	300	1	3:Open and Preset

②レジ登録後使用方法：レジに付いているハンドスキャナでバーコードを読み取ります。



3. 9桁から12桁までの数字を使ってコードを作成する場合（13桁 JAN(EAN)コード作成）

①13桁の JAN コードが出来上がります。

例) 独自コードが2345678912の場合：作成結果は0023456789121になります。

C/D自動計算 あり なし  
(桁数が8または13桁ではない場合)

JAN・UPC優先 JAN優先 UPC優先  
8または13桁数を見てC/Dを付加  
強制0詰(全て13桁JANへ変換する)

正コードとして条件を満たさない場合のコード構築

※保存設定はC/D自動計算「なし」、桁数調整も「なし」にします。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	0023456789121	13桁JAN	500	1	3:Open and Preset

②13桁のするため、先頭に0を付けてから13桁目のC/Dを付加します。

③レジ登録後使用方法：レジに付いているハンドスキャナでバーコードを読み取ります。



## (2) C/Dが付いている独自コードから作成する（独自バーコードを使用している場合等）

1. 8桁の数字を使って8桁 JAN コードを作成する場合（8桁 JAN コード作成）  
（予め用意している8桁 JAN コードが、正しいコードなのか確かめる際有効）

C/D自動計算 あり なし  
(桁数が8または13桁ではない場合)

JAN・UPC優先 JAN優先 UPC優先  
8または13桁数を見てC/Dを付加  
強制0詰(全て13桁JANへ変換する)

正コードとして条件を満たさない場合のコード構築

※保存設定を C/D 自動計算「あり」、「JAN 優先」、桁数調整は「8 または 13 桁数を見て C/D を付加」にします。

- ①8桁目の数字が正しいC/Dの場合は、そのまま8桁コードが出来上がります。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	12345670	JAN8	300	1	3:Open and Preset

⇒レジに登録すれば、正しい JAN コードとしてハンドスキャナで読み取りができます。

- ②8桁目の数字が誤ったC/Dの場合は、コード欄に赤い帯が付きます。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	12345678	PLU	300	1	3:Open and Preset

⇒レジに登録しても正しい JAN コードではないため、ハンドスキャナで読み取ることはできません。

2. 13桁の数字を使って13桁 JAN コードを作成する場合（13桁 JAN コード作成）  
（予め用意している13桁 JAN コードが、正しいコードなのか確かめる際有効）

C/D自動計算 あり なし  
(桁数が8または13桁ではない場合)

JAN・UPC優先 JAN優先 UPC優先  
8または13桁数を見てC/Dを付加  
強制0詰(全て13桁JANへ変換する)

正コードとして条件を満たさない場合のコード構築

※保存設定を C/D 自動計算「あり」、「JAN 優先」、桁数調整設定は「8 または 13 桁数を見て C/D を付加」にします。



①13桁目の数字が正しいC/Dの場合は、そのまま13桁コードが出来上がります。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	1234567891231	JAN13	300	1	3:Open and Preset

⇒レジに登録すれば、正しいJANコードとしてハンドスキャナで読み取りができます。

②13桁目の数字が誤ったC/Dの場合は、コード欄に赤い帯が付きます。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	1234567891234	JAN13	300	1	3:Open and Preset

⇒レジに登録しても正しいJANコードではないため、ハンドスキャナで読み取ることはできません。

3. 1桁から13桁の数字を使って、強制的に13桁JANコードを作成する場合（13桁JAN(EAN)コード作成）

（他のバーコード作成ソフトから0語のC/Dが付いている13桁JANコードを作成済みでレジに当該コードに登録する際有効）

C/D自動計算 あり なし  
 （桁数が8または13桁ではない場合）

なし  
0語・13桁揃え  
0語・8桁または13桁

JAN・UPC優先

※保存設定をC/D自動計算「なし」、桁数調整設定は「0語・13桁揃え」にします。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	17	強制13桁コード	500	1	3:Open and Preset

▼ ENTER

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	0000000000017	強制13桁JAN	500	1	3:Open and Preset

4. 1桁から8桁の数字を使う場合は8桁JANコードを作成して、9桁から13桁の数字を使う場合は13桁

（8桁または13桁JAN(EAN)コード作成）

JANコードを作成する場合

（他のバーコード作成ソフトから0語のC/Dが付いている8桁又は13桁JANコードを作成済みで、レジに当該コードに登録する際有効）

C/D自動計算 あり なし  
 （桁数が8または13桁ではない場合）

なし  
0語・13桁揃え  
0語・8桁または13桁

JAN・UPC優先

※保存設定をC/D自動計算「なし」、桁数調整設定は「0語・8桁または13桁」にします。

①1桁から8桁の数字を使う場合

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	1234565	強制8・13桁JAN	500	1	3:Open and Preset

ENTER

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	01234565	強制8・13桁JAN	500	1	3:Open and Preset

②9桁から13桁の数字を使う場合

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	1234567895	強制8・13桁JAN	500	1	3:Open and Preset

ENTER

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	0001234567895	強制8・13桁JAN	500	1	3:Open and Preset

### 【既製品のバーコードをレジに登録したい場合】

例：45・49から始まるバーコード（たばこ・飲料等）

C/D自動計算	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> なし	<input checked="" type="radio"/> なし
(桁数が8または13桁ではない場合)		<input type="radio"/> 0詰・13桁揃え	<input type="radio"/> 0詰・8桁または13桁
JAN・UPC優先			

※保存設定をC/D自動計算「なし」、桁数調整設定も「なし」にします。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	4902201077866	コーヒーミックス	190	1	3:Open and Preset

①8桁または13桁の既製品のバーコードをそのまま使用します。

① ジ登録後使用方法：レジに付いているハンドスキャナでバーコードを読み取ります。

